

めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243

E-mail miraikenshiwa-mirai.com



日本ミツバチを 飼育したい人募集中!



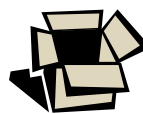
このたび、紫波町ニホンミツバチを考える会(事務局:紫波みらい研究所)を発足しました。会員は、すでにミツバチを飼育している人、飼育に興味のある人で構成。今後、講習会等も開く予定です。ミツバチは、花粉媒介によって多くの植物の再生産を手助けする循環型の生き物です。昨年度は、蜜源・花粉源植物の増殖をしようというプロジェクトを行いました。

現在、考える会では会員を募集しています。会員を対象に講習会の開催や飼育箱の貸し出し(先着20人)を行っていきます。

問い合わせ先:みらい研究所 佐藤 671-2244



ミツバチの飼育について話し合う会員の皆さん



第2回ダンボールコンポスト 講習会の開催!

紫波町では、生ごみの減量化を図るために、ダンボールコンポストの普及を進めています。今回も紫波町ごみ減量女性会議理事を講師に招き、講習会を開催します。興味のある方は、ぜひ足を運んでみてください。

日時:平成23年2月13日(日)午前10時から12時

場所:紫波みらい研究所(環境・循環PRセンター)

持ち物:参加費1,000円(コンポストセット代)

ダンボール1箱(二重になったもの)

サイズの目安(縦30cm×横45cm×深さ30cm 容量7.5kg以上)

調達できない方は、ご連絡ください。

定員:10人(先着順)

講師:紫波町ごみ減量女性会議 理事

主催:紫波みらい研究所

締切り:2月7日(月)

申込み:紫波みらい研究所 671-2244

FAX 671-2243

ダンボールコンポストとは、ダンボールを使った堆肥づくりのことです。

環境一口メモ



紙・プラスチック製容器(包装)の分別が始まり、燃やせるごみが劇的に減ったと思われる家庭が多いと思います。しかし、その中で誤った分別も多く、仕方がなく燃やせるごみになるケースも

あります。間違いやすいプラスチック製品は次のとおりです。燃やせるごみに入れてください。

CD、CDケース、DVD、クリーニングの袋、ビデオテープ、人形ケース、ハンガー、歯ブラシ(マヨネーズの容器は洗わずに燃やせるごみへ)

～わたしのひとこと～

熊谷 育子さん(片寄在住)

江戸の頃、綿の衣類を着ることができなかった津軽の農民は、着ることが許されていた麻の布に木綿の糸で刺しゅうをほどこし、保温と補強をした着物で厳しい寒さをしのいだそうです。これがこぎん刺しの始まりです。農家の娘は、小さいころからこぎん刺しを習い競って美しいものをつくり、手の込んだ柄のこぎん刺しを持って嫁いだそうです。

先日、こぎん刺しの名刺入れ(ベージュ)とテッシュ入れ(紺)を弘前で買い求めました。北欧風な色合いでとても気に入ってます。

その時、貴重な古いこぎん刺しの野良着を見せていただきました。美しい刺しゅうが前身頃から後身頃にかけてほどこされた、藍色のその古い着物を手にとった時、予想外な軽さとやわらかさに、とまどいを感じました。

どんな人が糸を刺し、どんな人が身に着けたのか、古い着物の歩んできた道は知るすべもなく、私にはすでに亡くなった祖父母の暮らしぶりから想像できる範囲でしかありませんでした。

あれから2ヶ月。今は、その古い着物が語りかけていることの重さと、それをつないでいく私たちに必要な軽やかさを着物は伝えているのだと思うようになりました。



行雲流水(15) 雪の正月

熱暑の夏がようやく終わり、割合過ごしやすい冬、と思っていたら押し詰まっていたからのドカ雪。厳寒の雪中正月となった。鳥取では雪の中、国道で約千台の車が立ち往生、というニュースが飛び込んできた。紅白歌合戦も後半、という頃、突然玄関のチャイムが鳴った。インターホン越しに、宅配です、の声。驚きつつ玄関を開けると、もんもんと降りしきる雪を背に、荷を抱えたドライバー氏が立っていた。こんな雪の夜更けに・・・、とねぎらうと、年内に届けるべき荷物があちこちの高速道路で通行止めがあり、ついさつき到着したもので、とのこと。全部配達済まないとい今年の仕事は終わらない、という。あのドライバー氏、ちゃんと年内に帰宅して年越しそばを食べられたのか、とそばをすすりながら気になった。一方、ここ数年、毎年大晦日に夜勤を引き受けている、子どもの小さな若い人には気の毒でさせられないから、という看護師さんもある。この人にも夫も子どももある。今更、ではないが、私たちの生活は実にさまざまな職業の人たちに支えられている。支えるこれらの多くの人たちは年末年始もなく仕事をこなしている。日本人としての彼らの勤勉さ、職業意識の高さに、改めて感謝、感謝の年頭。(三)

農作業などの体験を受け入れる人募集中!

グリーンツーリズムの受け入れを行う協議会の設立に向け、設立趣旨に賛同する会員を募集します。

募集内容の例

農作業(田、畑、樹園地、畜産など)の体験をさせることができる人

まき割り、間伐作業などの山仕事を体験させることができる人

自宅に宿泊させることができる人

食の体験をさせることができる人

町の魅力を伝えることができる人

問い合わせ

紫波町グリーンツーリズム準備委員会

事務局 NPO法人紫波みらい研究所

671-2244 9時から18時

「めぐりっと紫波」は、紫波町環境課からの委託事業で発行しています。